

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association



JAMCA ニュース

60周年記念号 (Ver 1)

No.115

2022年10月1日

発行  
協会事務局  
編集事務局全国自動車大学校・整備専門学校協会  
〒160-0015 東京都新宿区大京町31  
ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066  
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3  
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988  
ホームページアドレス <https://www.jamca.jp/>

# 国民の生命と安全を守る 「自動車整備士の国家資格の価値」を高めよう

関東工業自動車大学校 理事長  
全国自動車大学校・整備専門学校協会 会長

中川 裕之

JAMCA60周年を迎えるにあたり、「いよいよ」というか、「ついに」と言うべきか、適切な言葉が見当たりません。

何故ならば、現在の自動車大学校の現状と置かれた環境を考えると、周年行事を素直に喜べる心境になることはできないからです。

今までの常識が常識でなくなる、今まで隆盛をきわめた企業が消滅し、今まで存在しなかった企業が急激な成長を遂げる、過去の延長線上に未来がない、未来は明日の延長線上にある時代においては、60周年は一つの時代の終わりとして捉えることが重要だと考えます。

そして、全く新しいJAMCAに生まれ変わることが、今後のJAMCAの永遠の成長と発展につながることでありと確信します。

過去、JAMCA会員校全てが学生募集において、定員の二倍の学生を集めていました。しかし、現在に至っては、その60%を失い、最盛期の40%に過ぎず、二倍の係数を勘案すれば、80%を失い、最盛期の20%という、60年間積み重ねた努力の結果が、全く悲惨な結果であることを直視しなければなりません。



この60年を振り返れば、戦後の復興が、「鉄」と「自動車」ということに国運をかけ、官・民一体となり高度成長という波にのり、「Japan as NO.1」(ジャパンアズナンバーワン)という世界を震撼させたピークを迎えると、BIS規制によりその勢いをそがれ、極めて残念なことでありますが、中国にGDPで追い抜かれ、遂には、世界で唯一マイナス金利を継続せざるを得なくなったということでもあります。JAMCAの学生募集の結果も、それに正比例しています。

何故、学生数がピークの20%になったのか。その原因は。

一言でいえば、「自動車整備士の国家資格」の「価値の低下」にほかなりません。

学校を単純なビジネスとして

極端に表現すれば、我々の商品はただ一つ、「自動車整備士の国家資格」です。過去には国家資格を買うのに行列ができたが、今は、20%が売れるけれども、80%は在庫が積みあがる状況ということなのです。

では何故、「国家資格の価値」がここまで下がったのか。社会における価値観の変化に対応することができなかったのです。

過去、「手に職を持つ」「定職につかないといけない」という社会において、自動車整備士の国家資格は輝いていたのです。

現代は、働き方改革、自分に合った仕事、定職につくとかえって不自由、労働時間は自分で決める、このような考え方が主流になっている。

加えて、我が国だけではなく、自動車産業が基幹産業とし

2面に続く→

## CONTENTS

- 3面 協会発足60周年を祝う
- 4面 JAMCA 60年の歩み
- 5面-6面 年表
- 7面 協会トピックス
- 8面 私の教材活用・お知らせ・編集後記